(現行)都市計画マスタープランの進捗状況

平成28（2016）年策定以後～令和7（2025）年度見込み

1. まちづくり基本方針の進捗状況

区分	基本方針	進捗	今後の主な取組等	
軸の形成	(1) 山陰近畿自動車道による広域道路ネットワークの強化	●山陰近畿自動車道（仮）網野ICまでの早期事業化	継続	国等への要望を継続
		●（仮）網野ICから久美浜までの区間の早期ルートの決定促進	継続	
		●都市拠点構想に即したICアクセス道路計画	継続	
		●2車線区間となる山陰近畿自動車道の速度低下対策	継続	国等への要望を継続
	(2) 地域内道路ネットワークの強化	●京丹後大宮ICの供用を踏まえた国道312号の渋滞緩和対策	継続	国等への要望を継続
		●主要地方道網野峰山線のリダンダンシー(替性)確保	継続	府に早期実現を要望
		●都市交通の発展と歩行者の安全確保などを踏まえた都市計画道路の整備	—	長期未着手の都市計画道路を見直しの検討
	(3) 公共交通の利便性の向上	●鉄道を基軸とした地域の活性化に結びつく公共交通ネットワークの構築	継続	公共ライドシェアの全市域展開、自動運転バスなど多様なモビリティの活用やMaaSの可能性を検討
		●交通弱者である高齢者等への買物・通院難民対策としての取り組み	継続	
●都市機能の集積効果を高める駅やバスターミナルの整備		—	都市拠点へのアクセス等をも高めるため、京都府及びKTR等と新駅の位置などについて意見交換等を行う	

区分	基本方針		進捗	今後の主な取組等
ゾーンの形成	(1)用途地域の指定などによる地域活性化	● 駅周辺の活性化と、国道沿道での商業集積の誘導	継続	立地適正化計画とあわせて用途地域等指定の必要性を検討
		● 産業振興を通じた地域雇用の維持と拡大の推進	継続	
		● 住宅や工場などの混在による居住環境の悪化を未然に防ぐ	継続	
		● 行政サービスの効率化、利便性の向上	継続	峰山・大宮庁舎の改修(R8年度)完成予定)
		● 既存市街地における工業機能と居住地の共生	継続	立地適正化計画とあわせて用途地域等指定の必要性を検討
	(2)魅力的な都市景観の形成と自然環境の保全・共生	● 古代丹後の輝かしい歴史・文化資産の保全と活用	継続	「京丹後市文化財保存活用地域計画」を策定、
		● 旧来のまちなみを活用した新たな観光の拠点づくり	継続	散策マップの作成、多言語化を推進
		● 都市景観の形成によるまちの魅力の創出	継続	久美浜一区の取組を継続
		● 優れた自然環境の保全と共生	継続	農業用施設防災減災事業を推進
	(3)公園・緑地等の整備による生活環境の向上	● 都市公園の利便性を高める新たな機能整備	完了見込	途中ヶ丘公園東側駐車場整備はR7完了予定 など
		● 快適で憩いのある生活空間の形成	—	既存都市公園等による憩いの場を形成している
		● 網野銚子山古墳の史跡を活かした取り組み	完了	古墳を活用した取組を推進

区分	基本方針	進捗	今後の主な取組等
ゾーンの形成	(4) うるおいのある住環境の整備	●下水道事業等の推進による河川や水路の水質保全及び住環境の改善	継続 事業区域についてR12年度完成を予定
		●公営住宅の老朽化による集約や計画的な建替	継続 周枳団地の一部撤去
		●ユニバーサルデザインに配慮した歩行者ネットワークの構築	— 最適な公共施設の整備、持続可能な施設管理について継続的に検討
	(5) 安全安心なまちに向けた防災基盤や都市施設の整備による都市機能の向上	●防災基盤の整備による災害に強いまちの構築	継続 福田川河川改修事業は府により継続整備
		●内水対策事業の早期完了と事業者や住民による自助の取り組み	継続 小栓川雨水幹線の継続整備
		●災害時や緊急時における、ヘリコプターの場外離着陸場の確保	継続 場外離着陸場整備に向けた、候補地の調査及び検討
拠点の形成	(1) 国道312号と国道482号沿いにおける商業・交流機能の向上 【都市拠点】	●だれでも立ち寄れ、市内情報が得られる拠点づくり	継続 山陰近畿自動車道の休憩施設整備に向けた検討
		●文化、芸術活動による交流を促す拠点づくり	継続 都市拠点公共施設整備基本計画に基づく公共施設整備
		●都市のにぎわいとゆとりを創出する拠点づくり	継続
	(2) 駅と市街地における観光・交流機能の向上 【地域拠点】	●駅の機能向上と合わせた周辺整備と施設の段差解消	継続 Wi-Fiや多言語表示など待合施設の環境整備を実施予定
		●駅周辺から観光資源への周遊を促す取り組み	継続 レンタサイクル、e-bikeを運用